

Macbeth Lighting



SpectraLight III

使用説明書

CE DECLARATION (ヨーロッパ)



X-Rite, Incorporated はこれにより、本 Spectralight QC が指令 2004/108/EC、LVD 2006/95/EC、RoHS 2011/65/EU の基本条件および関連条項に準拠することを宣言します。(カテゴリ-9、工業)

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION NOTICE (米国)

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

INDUSTRY CANADA COMPLIANCE STATEMENT (カナダ)

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.



機器の注意

エックスライト社により承認された用途以外に本製品を使用した場合、設計・機能に影響を与えるだけでなく、危険性を伴うことがあります。

警告： 本機を爆発物の付近に設置しないでください。



廃棄物処理の手順：廃電気・電子機器指令 (WEEE) の対象となる機器製品は指定の収集場所にて廃棄してください。



安全手順

- 手順に必ず従ってください。本体を組み立てる、設置、または操作する前に全手順を読み、それに従ってください。
- 本説明書を保管してください。本説明書を読んだ後は、今後の使用のために保存してください。
- 警告に従ってください。本説明書が提供する全ての警告および安全手段に従ってください。皆様と本体を保護するための内容です。本製品が説明書の手順通りに使用されない場合、機器の安全保護が損なわれます。
- 正しい電源を使用してください。本体に正しい電源のみを使用してください。本体裏の電源ラベルをご確認ください。電源ラベルに表記されない電源で操作した場合、不正確な照明、機器への損害、またはけがを負うことになりかねません。
- 排気口を防がないようにしてください。照光源は操作部分を加熱します。SpectraLight III の加熱は、パネル上部の排気口から消散する最大 5460 BTU です。排気口を防いでしまうと、過熱、機能不良、可燃性または可燃物が存在する場合は火災の恐れが発生します。
- 水分と湿気から守ってください。スプリンクラー設備のあるところでは、オーバーヘッド光源装置を設置しないでください。本製品を使用する際は、電気安全を維持してください。こぼれた水、その他の液体や管理不可能な湿気が原因で電気ショックが起きる可能性がある場所では、本体を使用しないでください。
- 正しく清掃してください。糸くずの付いていない綺麗なレンズ用等の布で拭いてください。洗浄液やワックスを含む洗剤は絶対に使用しないでください。反射および光沢部分が黄ばんだり、変化する恐れがあります。外部表面は中性洗剤を入れた水で濡らした布で拭いてください。

- **ランプおよび昼光フィルタには気を付けてください。**ランプおよび昼光フィルタが冷めるまで触らないでください。交換用タングステンランプを扱う際は、必ずレンズ拭き等をご使用ください。油脂はランプの性能に影響を及ぼします。
- **UV-A 放出：**UV 機能が使用される際は、低い UV 放射線量が放出されます。UV 放射線は 15 分以上、直接受けないようにしてください。長時間にわたる使用には、保護方法が必要です。
- **緊急停止：**緊急時のために、本体を電源スイッチの近くに設置してください。

限定保証

X-Rite は、本製品に対して X-Rite からの出荷日から 12 ヶ月の構成および製造の保証を提供します。保証期間内は欠陥部品を無償で交換または修理いたします。

X-Rite の保証は、次から発生する保証製品の欠陥を除きます。(i) 出荷後の損害、事故、乱用、誤使用、放置、変更等の X-Rite の推奨、付属書類、公表仕様、業界基準に沿わない使用。(ii) 推奨される仕様以外の操作環境における装置の使用、または X-Rite が提供する保守手順書や公表仕様に準拠しない場合。(iii) X-Rite または認定された会社以外による修理またはサービス。(iv) X-Rite より製造、流通、承認されていない部品や消耗品の使用により発生した保証製品の欠陥。(v) X-Rite より製造、流通、承認されていない付属品または修正が保証製品に追加された場合。また、消耗品および製品の手入れは保証に含まれません。

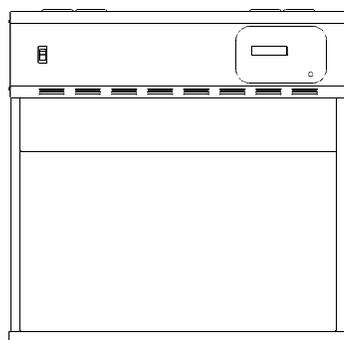
上記保証の破損に対する X-Rite の限定義務は、いかなる部品の無償修理または交換とし、保証期間内に欠陥品と証明され、かつ X-Rite が合理的に納得できるものに限り、X-Rite による修理または交換により保証期間は回復されず、また保証期間は延長されません。

X-Rite より指定されたサービスセンターに欠陥製品を送付される際は、梱包および郵送はお客様の自己負担となります。製品の返送費用は、X-Rite のサービスセンターが担当する地域のみ、X-Rite が負担いたします。指定地域外の場合、郵送料、関税、税金等の全ての費用はお客様の自己負担となります。保証期間中にサービスをお受けになる場合は、領収書などの購入日を証明する記録が必要です。本製品は絶対に分解しないでください。ユーザーにより分解された場合、製品保証は無効となります。装置が作動しない、あるいは正しく機能しないと思われる場合は X-Rite の東京サービスセンターまでお問い合わせください。

これらの保証は購入者にのみ適用されるもので、暗示・明示を問わず、市販性、特定目的や用途への適合性、非侵害性の暗示された保証を含む、またそれに限らず他の保証すべてに代わるものです。X-Rite の経営陣以外の社員または代理店は、前述以外のいかなる保証も提供することが承認されていません。

X-Rite はお客様の製造コスト、経常経費、利益の損失、信用、その他の費用、および契約いかなる保証の破損、過失、不正行為、その他の法理による間接的、特別、付随的、重要な他の損害に責任を負いません。いかなる場合においても、これによる X-Rite の責任は、X-Rite が供給した商品またはサービスの価格を上限とします。

紹介



エックスライト社の SpectraLight III は、5つの光源を選択できる視覚的カラー評価システムです。

- 昼光再現 (D75、D65、D50)
- 日没光 (日の出/日没の再現)
- 照明「A」 (白熱光室内照明)
- 寒色系ホワイト蛍光 (CWF)
- カスタム蛍光灯 (TL84 または U30)
- 紫外線 (UV：別の光源と共に使用されます。)

仕様

機種	オーバーヘッド光源装置	観察ブース
外形寸法	高さ：24.1 cm 幅：94.2 cm 奥行：65.3 cm	高さ：69.9 cm 幅：94 cm 奥行：62 cm
重量/出荷重量	42 kg / 52 kg	70 kg / 82 kg、光源装置を含む
使用電源	専用 20A 電源および 20A 電源用に保護設定されたコンセント。90~120VAC に必要です。最大の電源消費は 1500 ワットです。 100~117 VAC ±10% 50/60 Hz、5-20P NEMA プラグ付き 220~240 VAC ±10% 50/60 Hz、CEE 7/4 のヨーロッパ大陸向けプラグ	
ランプ補充	昼光：750ワットのタングステンハロゲン 2 個 日没光：500ワットのタングステンハロゲン (2300K) 4 個 イルミナント A (白熱光)：150ワットのタングステンハロゲン (2856K) 2 個 寒色系ホワイト蛍光：F30T8/CW (4150K) 2 個 UV：F30T8 BLB 2 個および F6T5 BLB 1 個 カスタム蛍光灯：F30T12/U30 (3000K) 2 個、F30T8/TL84 (4000K) 2 個、または F25T8/U35 (3500K) 2 個	
安全規定	汚染度：2 使用：屋内のみ 高度：2000M 過度電流：カテゴリーII	
環境条件	操作温度：0°C ~ 50°C 最高湿度：90% RH 最高 (結露なし) 保存温度：-40°C ~ 70°C	

設置

適した環境

エックスライト社の SpectraLight III で重要なカラー評価を行うために、最適な環境を確保することが大切です。

- 観察ブースを設置することにより、ASTM 規格に準拠する場所が提供されます。作業を行う表面および観察を行う周囲は、ニュートラル色かつ光沢度が低くなっています。ブースの開きを、環境光 (自然または人工) の影響が最も少ない場所に向けてください。
- オーバーヘッド光源装置を設置するには、管理された観察環境を作ることが必要です。他の光源による悪影響は、標準化された光源の効果を減少するため、評価場所を常に環境光から保護してください。オーバーヘッド光源装置に最

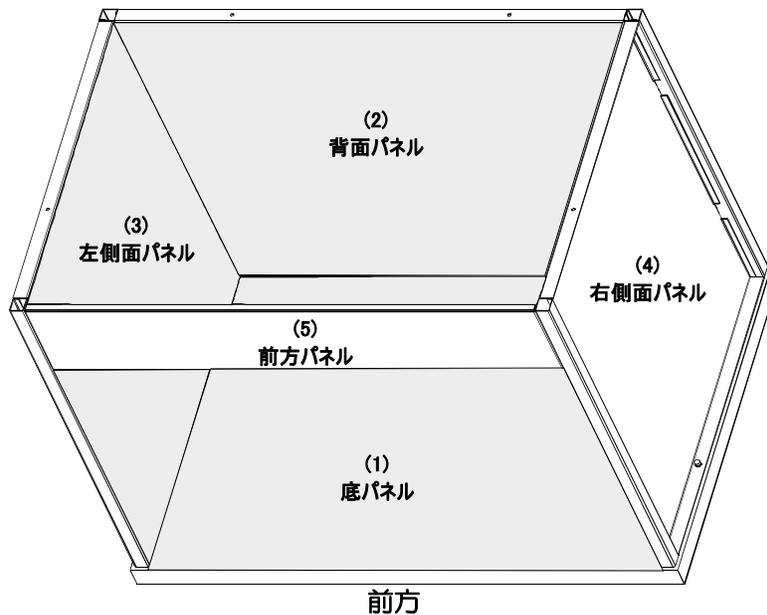
適な場所は、他の光源に邪魔されない窓のない部屋です。このような環境が揃っていない場合、光を防ぐカーテンを使用する、観察ブースを設置する、あるいは囲い式のカーテンを使用してください。光源装置は壁から 61cm 以上離れた所に設置し、照明レベルの均一性の問題を最小限に抑えてください。色を誤って判断しないように、サンプルをセットする背景色および観察する周囲はニュートラル色かつ低光沢にする必要があります。Munsell N7/ を使用することをお勧めします。

- 低光沢あるいは薄い色のサンプルを評価する際は、白の背景色が向いています。中位の光沢度で中間色のサンプルにはグレーの背景色が適しており、高光沢あるいは暗い色のサンプルにはベタ塗の黒が適しています。

観察ブースの設置

注記：十分なサポートおよびスペースを確保するために、1 ページ目の「仕様」をご覧ください。

1. 組み立てるための十分な場所があることを確認してください。（約3平方メートルが適しています。）
2. 出荷箱から観察ブースの部品を取り出してください。出荷箱を処分する前に、全ての部品が取り出されたことを確認してください。



注意

次の手順において、いかなる部品も表面を傷付けないように注意してください。

3. 底パネルを汚れのない平らな場所に設置します。（図 1 参照）

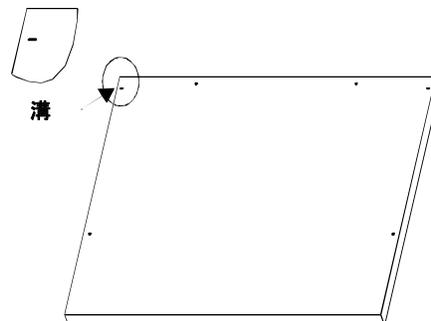


図 1 底パネル

4. 背面パネル（#2）底のくぼみを、底パネル（#1）後方のくぼみに合わせます。図2の様に、背面パネルと底パネルを2本のねじで固定します。

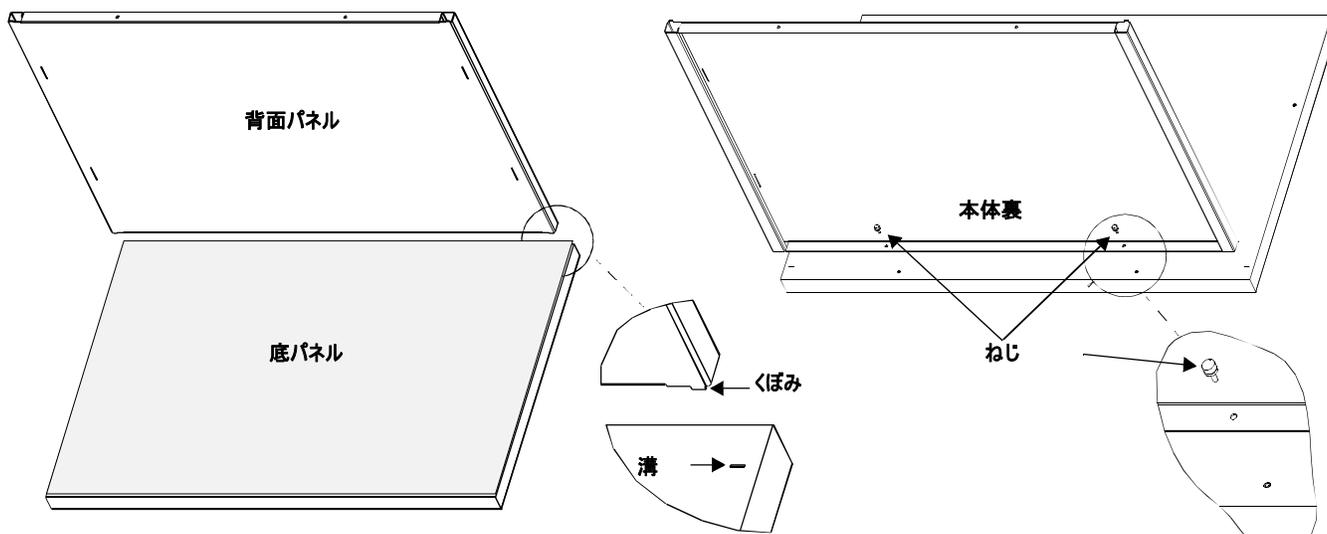


図2 背面パネルを底パネルに設置

5. 背面パネルを押さえながら、左パネル（#3）側面のタブを背面パネル（#2）に挿入します。図3の通りに、左パネルと底パネルを2本のねじで固定します。

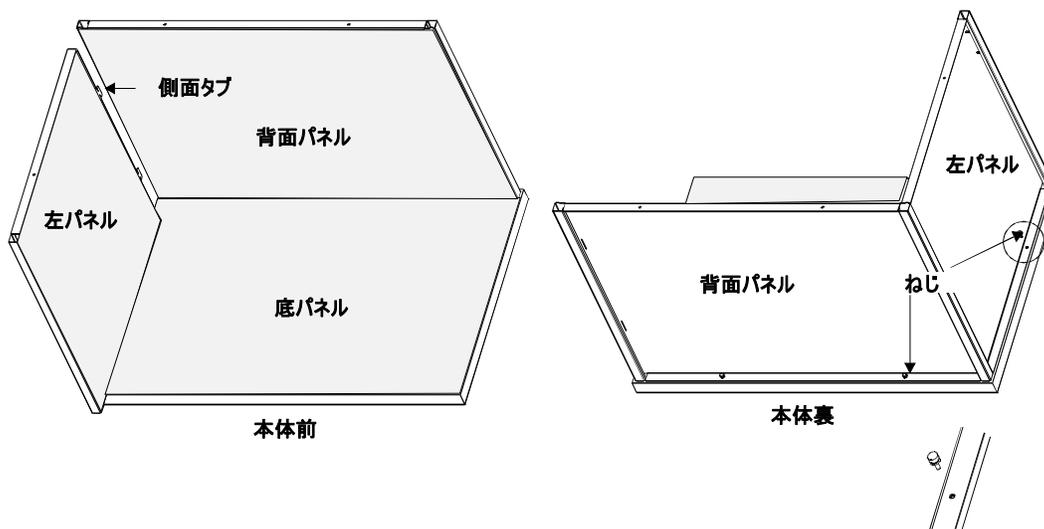


図3 左パネルを背面および底パネルに挿入した状態

6. 右パネル（#4）側面のタブを、背面パネル（#2）に挿入します。図4の通りに、右パネルと底パネルを2本のねじで固定します。

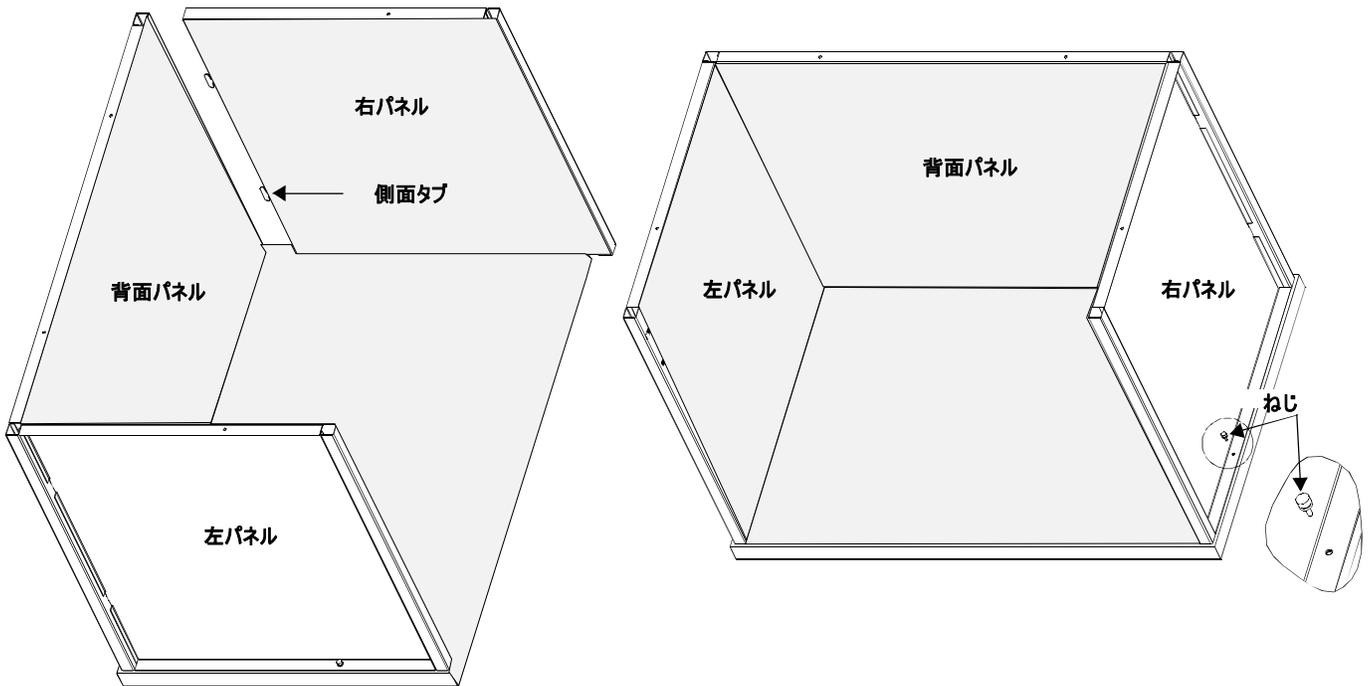


図4 右パネルを背面および底パネルに挿入した状態

7. 前方パネル（#5）の軸のくぼみを、2つの側面パネルにあるそれぞれの軸にはめ込みます。
8. 必要であれば側面パネルを曲げて、前方パネルの両端がくぼみに挟まるように押し込んでください。
9. 前方パネルを本体上部に向けて持ち上げ、くぼみに合わせて回転させて、左右パネルをねじクリップで固定します。（図5参照。）

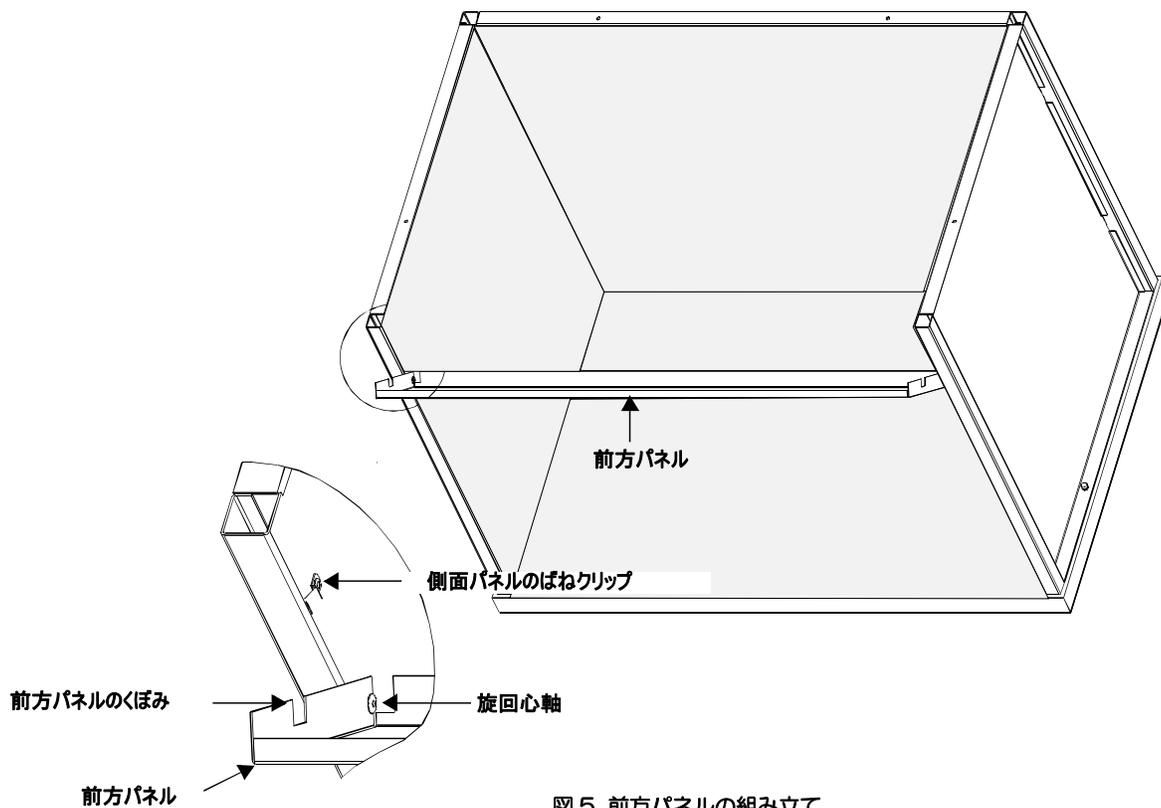


図5 前方パネルの組み立て

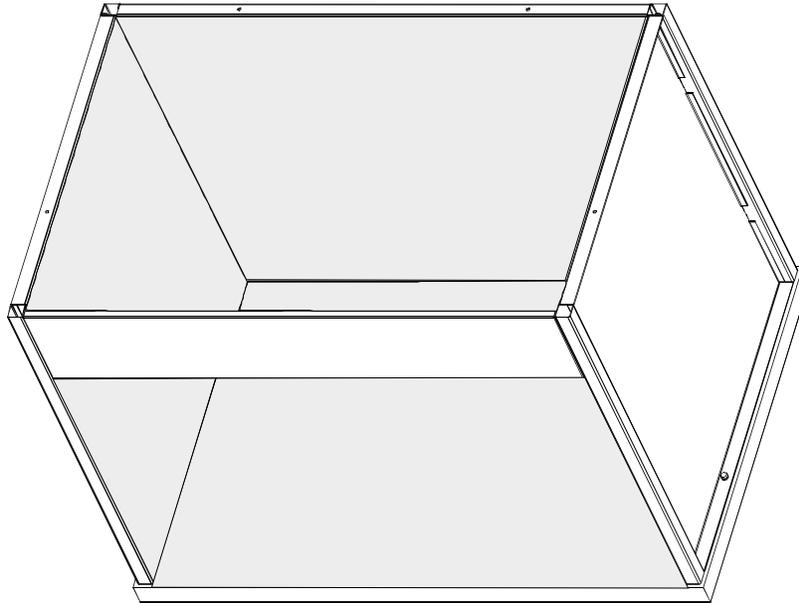


図 6 SpectraLight III 観察ブース

10. これで SpectraLight ブースの組み立てが完了です。（図 6 参照）
11. 136 kg を支えるテーブルまたはベンチの上に観察ブースを置いてください。
注記： テーブルまたはベンチの高さは、観測者の平均となる背の高さ、観察する姿勢に応じて決めてください。
12. オーバーヘッド光源装置を出荷箱からゆっくり取り出します。
13. コントロールおよびインジケータを前方に向けて、光源装置を観察ブース上部に置きます。光源装置を観察ブースのタブに合わせます。

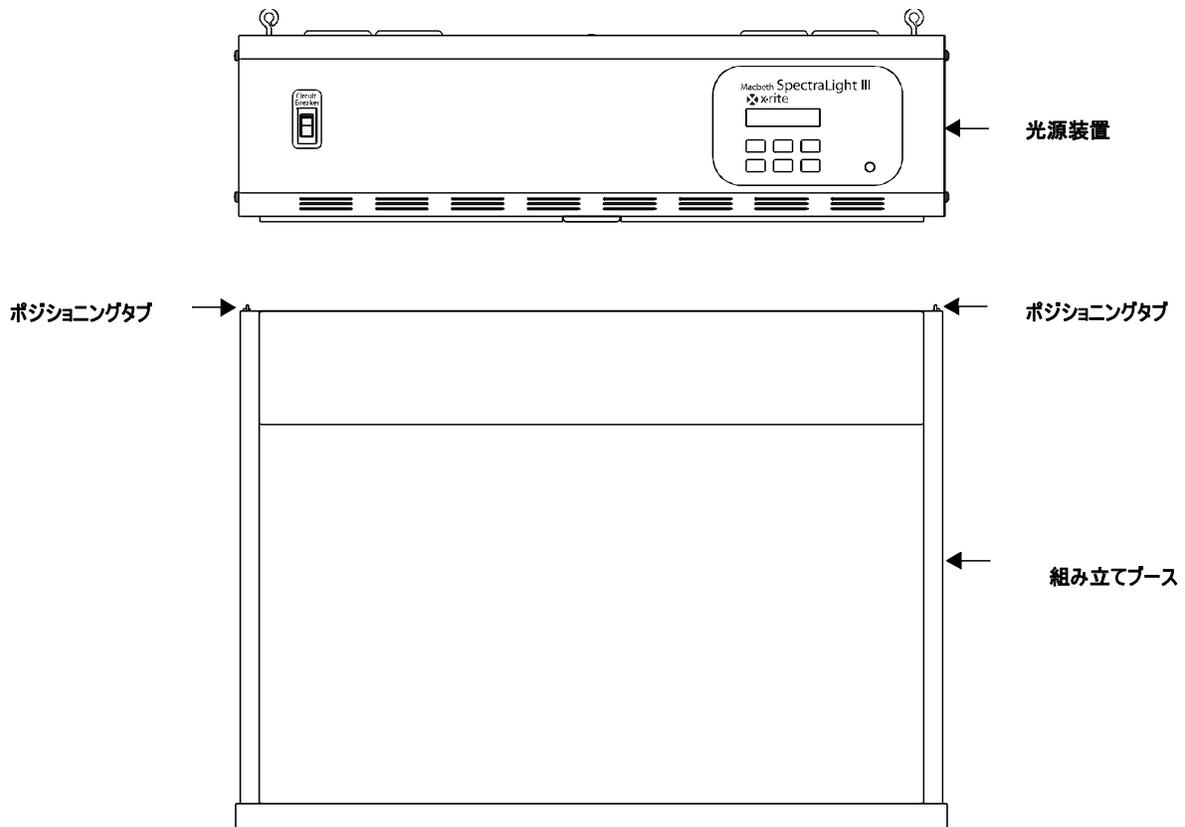


図 7 光源装置の設置

次に、別の箱に梱包された SpectraLight III ディフューザーを必ず設置してください。

14. ディフューザーを出荷箱からゆっくり取り出します。

⚠ 注意
ブース内面を傷付けないように気を付けてください。
ランプ破損を防ぐために、ちょうつがいのピンを日没光ランプの後ろに設置します。

15. 光源装置本体後部の後角にある隙間のソケットの前に、ディフューザーのちょうつがいピンを挿入します。ディフューザーのスムーズな面を光源装置の内部に向け、表面に変化のある面が外側になるようにブースの内側に向けてください。（図 8 参照）

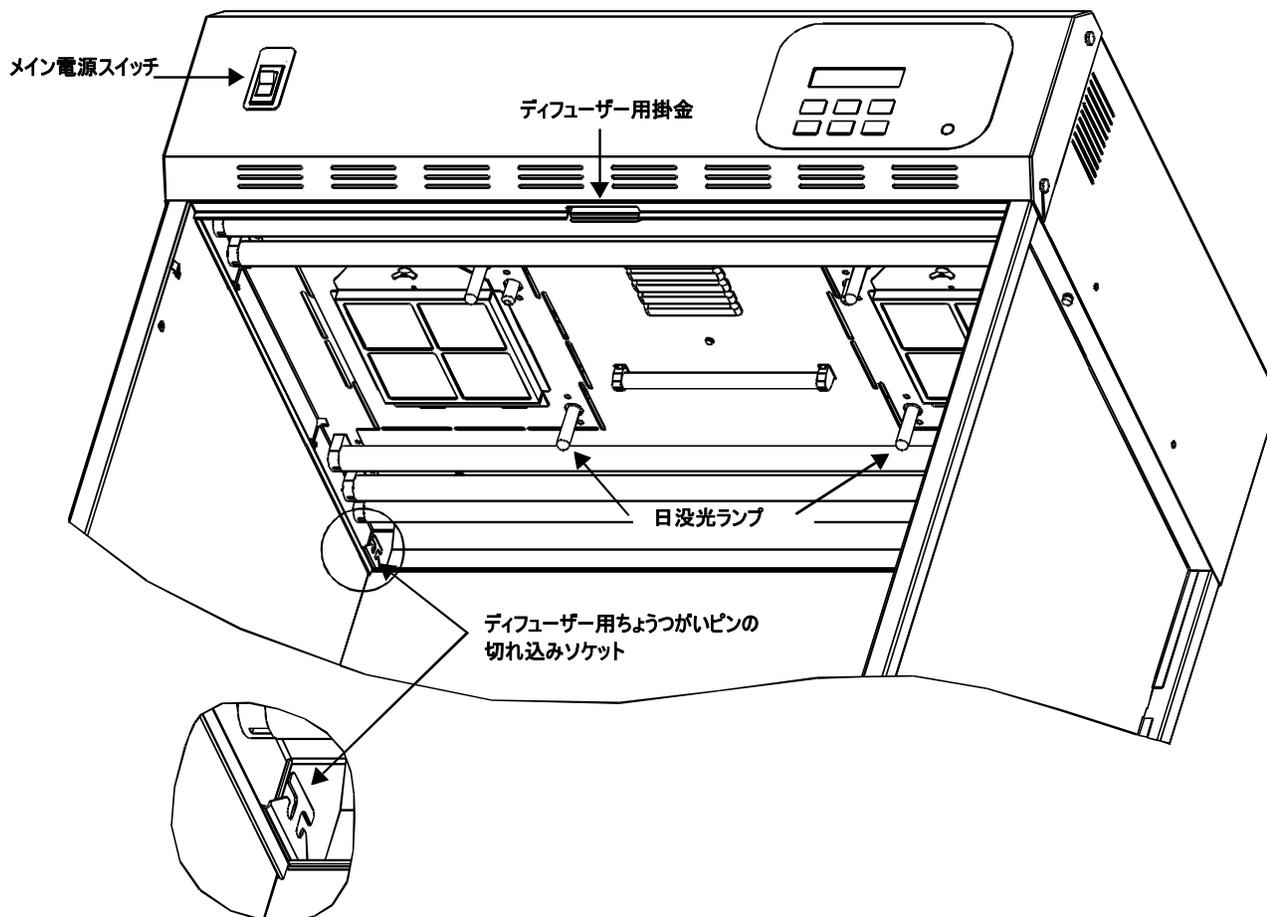


図 8 ディフューザーが見える状態の光源装置

16. ディフューザーを閉じた状態に回転させ、掛金で固定します。

⚠ 注意
離す前に、ディフューザーの掛金が固定されていることを確認してください。これを怠った場合、ディフューザーが固定位置から外れてしまう場合があります。

17. 本体後部の電源ラベルに指定される電圧に一致する電源に SpectraLight III を挿入します。前方パネルの電源スイッチを ON にします。

注記：電源を入れた直後、自動的に本体のシステム検査が開始され、電圧および電源ラインが十分かどうか確認されます。「Testing Line」が前方パネルに表示されます。テスト中に白熱光ランプが ON になります。検査が終了すれば、本体を操作する準備が完了です。

オーバーヘッド光源装置の設置

以下は、シングル式およびデュアル式のオーバーヘッド光源装置の組み立て手順です。

注意
火災用スプリンクラー設備があるところでは、オーバーヘッド光源装置を設置しないでください。光源装置から分散される熱が、スプリンクラー設備を稼働する恐れがあります。

1. SpectraLight III を出荷箱からゆっくり取り出します。
2. アクセサリ袋からアイボルト（シングル光源装置には 4 つ、デュアル光源装置には 8 つ）を取り出し、本体上部の溶接ねじにはめ込みます。（図 9 参照）

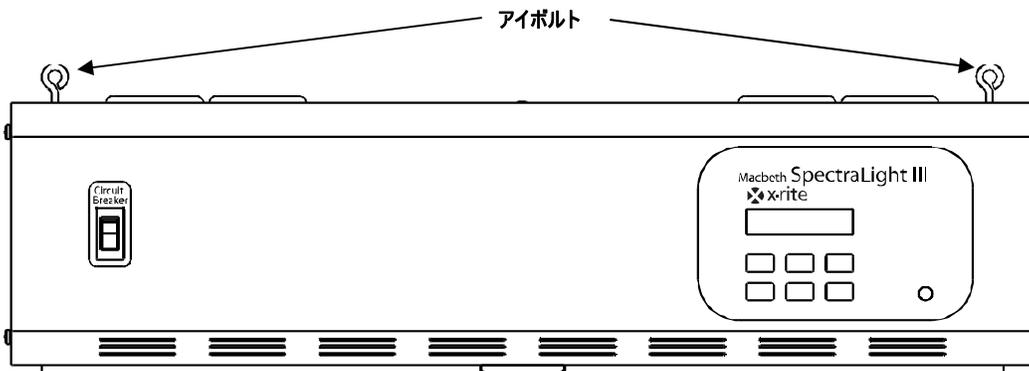


図 9 オーバーヘッド光源装置

注意
次の手順において、十分なサポートがあることを確認してください。本体の重量は 41.7 kg です。

3. 各アイボルトにチェーン（付属していません）と取り付け、作業場に適した高さで本体を吊り下げます。いずれの壁からも 61cm 以上離して設置してください。（図 10 参照）

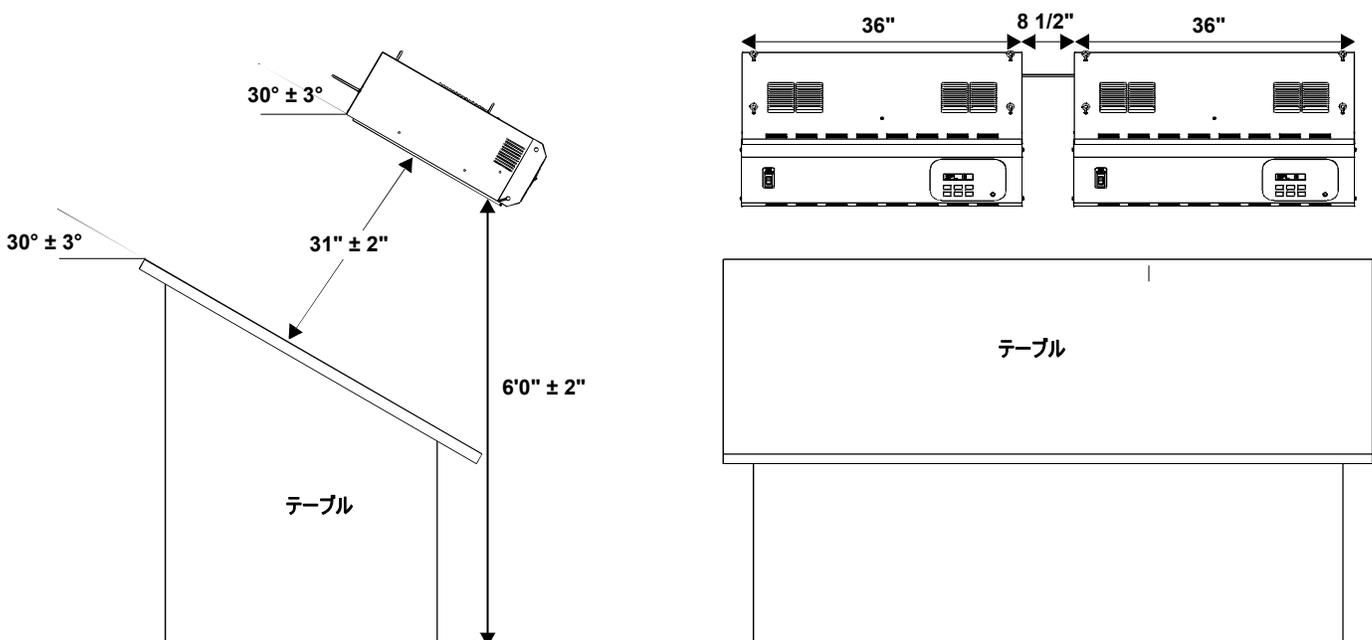
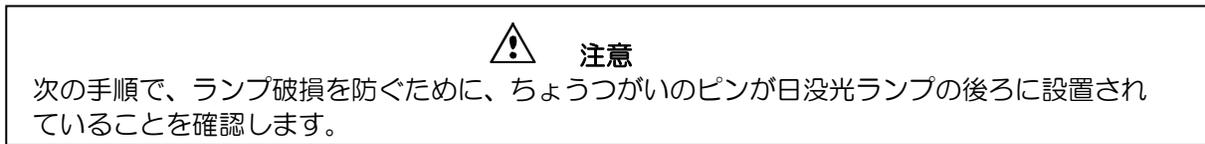


図 10 オーバーヘッド光源装置の設置（推奨）

SpectraLight III は、出荷時にすでにランプおよび昼光フィルタが設置されています。この時点で必ず、別の箱に梱包されたディフューザーを設置してください。

4. ディフューザーを出荷箱からゆっくり取り出します。



5. 光源装置本体後部の後角にある隙間のソケットの前に、ディフューザーのちょうつがいピンを挿入します。（図 11 参照）

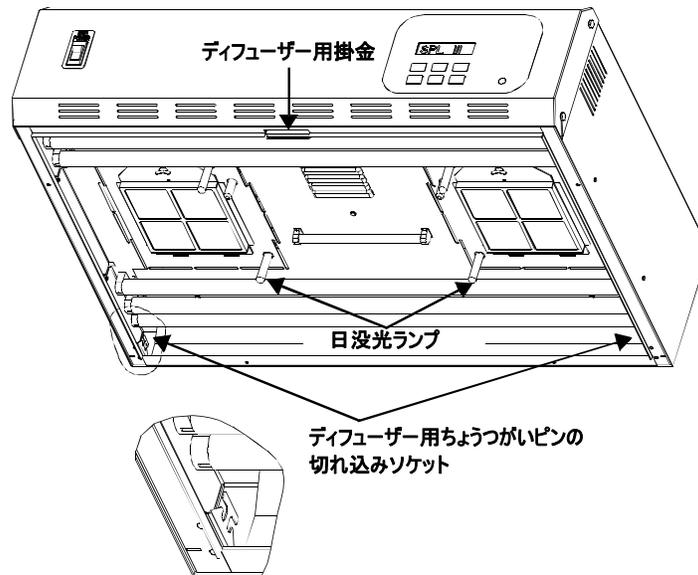


図 11 ディフューザーを取り付ける光源装置

6. ディフューザーの前方が閉じた状態になるまで回転させ、掛金で固定します。
7. リモートコントロール（シングル式のオプション部品）を、前方パネルの「Remote」と記された場所に接続します。
8. シングル式オーバーヘッドを設置する場合は、手順 10 に進んでください。デュアル式オーバーヘッドを設置する場合は、2つ目の光源装置に対し手順 4 から 6 を繰り返してください。
9. デュアル式光源装置専用ケーブルを、2つの光源装置の間に接続します。（図 12 参照）

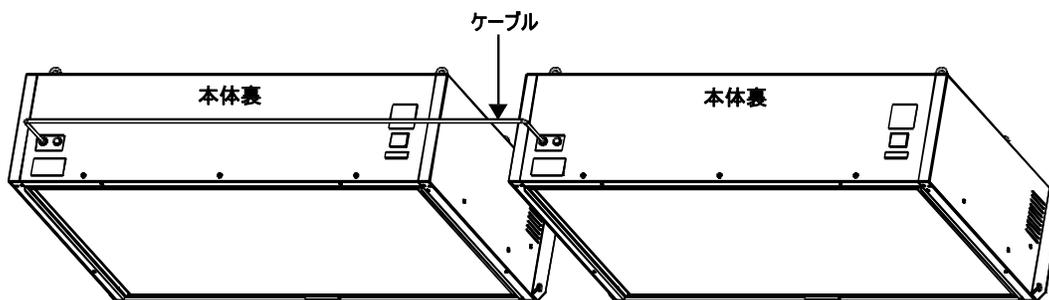


図 12 デュアル式オーバーヘッド光源装置のケーブル接続

10. 各光源装置をそれぞれ別の専用 20A 回線に挿入します。（各光源装置に一つずつ） 前方パネルの電源スイッチを ON にします。

注記： 電源を入れた直後、本体のシステム検査がしばらくの間実施され、電圧および電源ラインが十分かどうか確認されます。「Testing Line」が前方パネルに表示されます。テスト中に白熱光ランプが ON になります。検査が終了すれば、本体を操作する準備が完了です。

ディフューザー、昼光フィルタ、ランプ、反射器の清掃

本体を清掃する際は、図 13 および 14 を参照し、以下の手順に沿って行ってください。

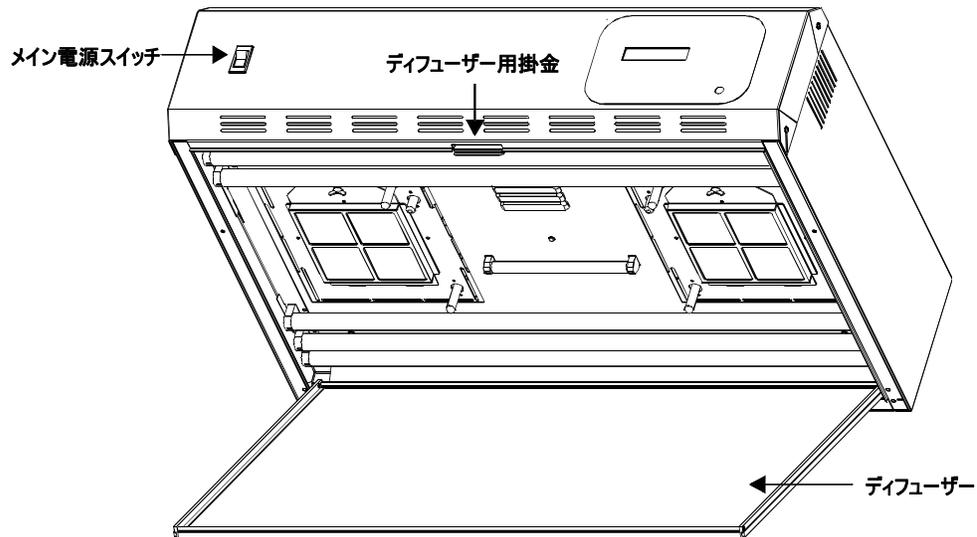
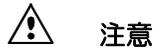


図 13 光源装置が開いた状態

1. まず電源スイッチを OFF にしてください。



次の手順では、ディフューザーに邪魔になる物がないことを確認し、ゆっくり下げてください。

2. ディフューザー前方にある掛金を外します。
3. ディフューザー前方が完全に開いた状態になるまで下げます。（垂直）



次の手順では、ランプ破損を防ぐために、ちょうつがいのピンを気を付けながら取り外してください。

4. ディフューザーを持ち上げて、ちょうつがいのピンを隙間のソケットから取り外します。
5. 中性洗剤を含む水でガラスを洗い、洗い流して乾燥させます。



昼光フィルタおよび白熱光ランプは、通常の操作において大変熱くなっています。フィルタやランプは触らないでください。冷めてから清掃してください。

6. 4分の1回転の留め具で外します。次のページの図 14 をご参照ください。フィルタパックを下向きにゆっくり回転してください。

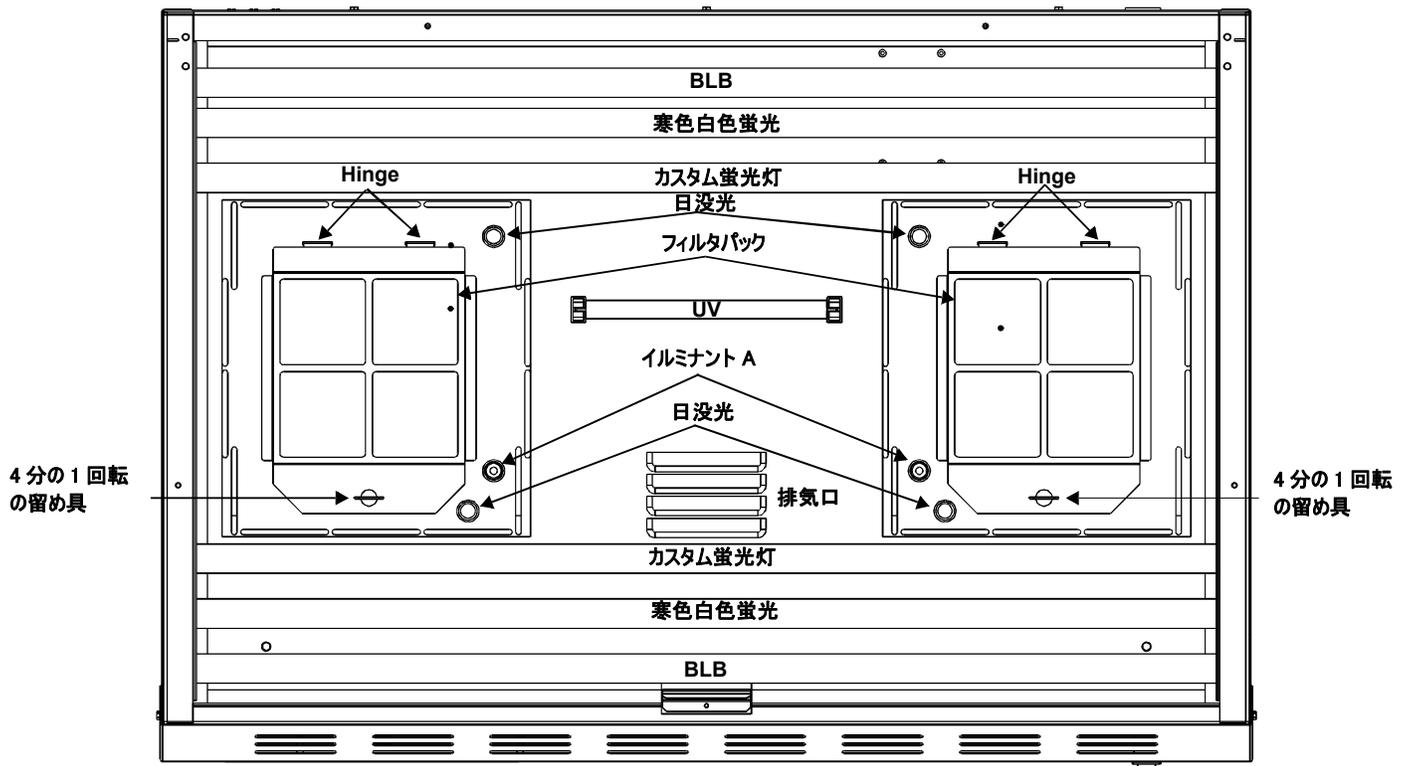


図 14 フィルタおよびランプの位置

7. フィルタパックを横に移動し、外してください。
8. 糸くずが付いていない布（レンズクリーナー）で埃を拭いてください。
9. 汚れや汚染物質は、スプレー式になった窓拭き用のクリーナーで拭き取ってください。水分・湿気をなるべく避けてください。
10. パックを空気で乾燥させ、手順 6 で取り外した同じ場所に戻します。

注記： 本体を操作する前に、フィルタパックが完全に乾燥していることを確認してください。ランプから熱が出ている場合、湿気はフィルタを損なう恐れがあります。

11. 2つ目のフィルタパックに手順 6 から 10 を繰り返します。

⚠ 注意

次の手順では、ランプ破損を防ぐために、ちょうつがいのピンを気を付けながら取り外してください。

12. 昼光ランプ反射器の汚れは、アンモニア性の窓拭き用のクリーナーを付けた布で拭いてください。
13. 昼光フィルタパックを交換します。
14. 糸くずが付いていない布（レンズクリーナー）で他のランプの汚れも拭いてください。
15. 残り全ての反射器の汚れは、アンモニア性の窓拭き用のクリーナーを付けた布で拭いてください。全ての構成部品を空気で乾燥させてください。
16. ディフューザーを設置および固定してください。ランプ破損を防ぐために、ちょうつがいのピンを日没光ランプの後ろに設置します。
17. メイン電源スイッチから電源を入れ、操作を開始します。

ランプ交換

器具の全体的な性能基準を維持するために、消耗したランプはすぐに交換してください。ランプは一式のセットを交換してください。例えば 1 つの昼光ランプが消耗すれば、もう 1 つのランプも同時に交換してください。本書後半の「パーツリスト」をご参照ください。

ランプタイプ	交換時期	ランプタイプ	交換時期
昼光再現	400 時間	寒色系ホワイト蛍光	4000 時間
日没光	2000 時間	UV30 ワット	4000 時間
イルミネント A	2000 時間	UV6 ワット	4000 時間



注意

昼光フィルタや白熱光ランプは十分に冷めてから扱ってください。ランプを扱う際は、必ずレンズ拭き等をご使用ください。皮脂は性能に影響を及ぼします。

1. まず電源スイッチを OFF にしてください。
2. ブースを設置する際は、前方パネルを取り外してください。
3. 前方のディフューザーの掛金を外します。ディフューザー前方が開いた状態になるまで下げます。（垂直）
4. 4 分の 1 回転の留め具を外し（図 14 参照）、ディフューザーを下げます。フィルタパックを横に移動し、外してください。

注記：フィルタパックを注意しながら取り出します。取り外し方や交換を間違った場合、破損する恐れがあります。

5. ランプの片端をねじ操作のソケットに押し込みながら、もう一方の片端を押し出します。
6. 両方のソケットからランプを取り出し、専用容器に廃棄します。
7. 親指と人差し指の間にレンズ拭き等を挟み、交換用ランプをソケットに挿入します。（図 15 参照）

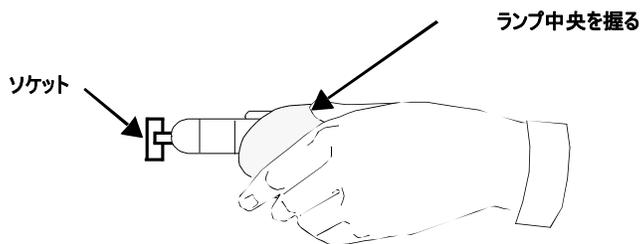


図 15 タングステンハロゲンランプの交換

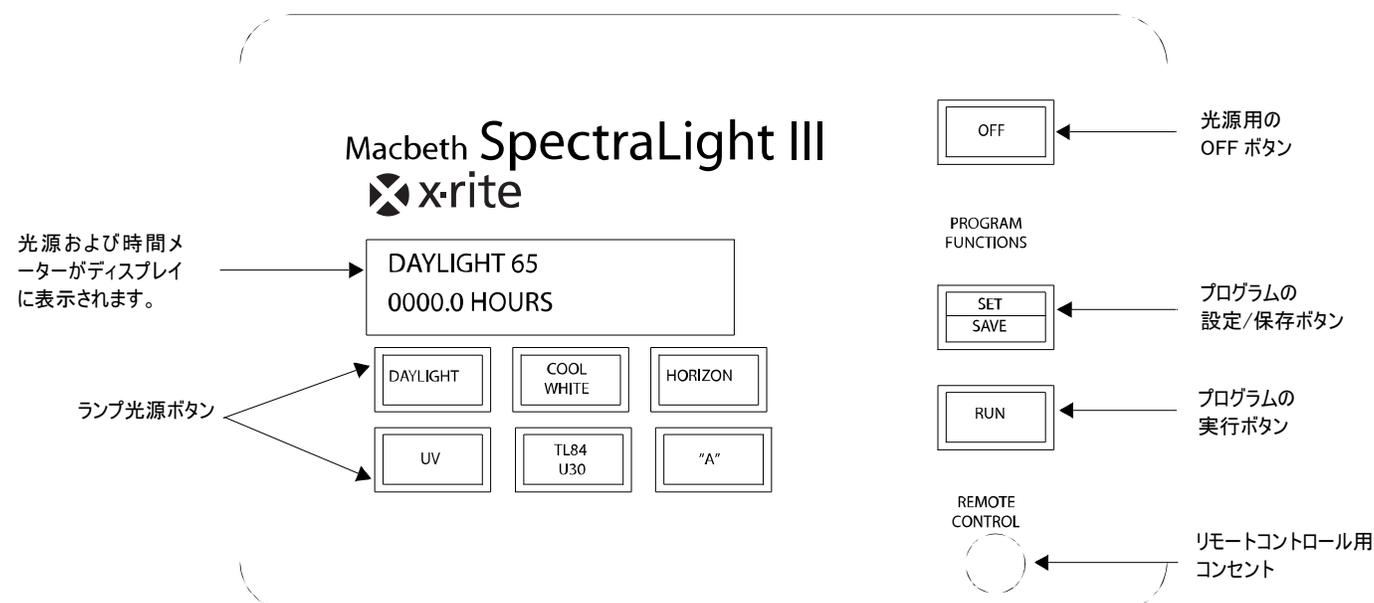
8. ランプ交換後、フィルタパックを交換して固定します。
9. 次のページの「ランプタイマーメーターのリセット」手順で、ランプタイマーメーターをリセットします。

証明書の発行プログラム

エックスライト社では、SpectraLight 観察システムのお客様に、予防メンテナンス証明書サービスを提供しています。この特約サービスは、SpectraLight 観察システム製品ラインに対し、A2LA（米国試験所認定協会）にトレーサブルになった性能証明書を発行するものです。このサービスを毎年受けることは大切で、ご使用のシステムがカラー再現品質の指定条件を満たすことが保証されます。

操作

注記：メイン電源スイッチから SpectraLight III の電源を切る際は、電源を入れ直す前に 5 秒以上お待ちください。これにより、全てのファームウェアおよびハードウェアの電源を正しく切ることができます。電源を切った後 5 秒以内で電源を入れると、本体の電源が入らないことがあります。このような場合、本体の電源を OFF にし、5 秒以上待ってからメイン電源スイッチを ON にします。



光源の選択

サンプルを観察する光源を選択するには、前方パネルのボタンを押して離します。次の光源が選択されるまで、あるいは羊皮紙製パネルの光源用 [OFF] ボタンが押されるまでその光源が選択された状態になります。

光源用 [OFF] ボタンの使用

光源の [OFF] ボタンは選択されたランプを OFF にする際に使用します。別のランプ光源が選択されるまで、本体を「未使用」状態にします。本体自体の電源を切る時は 光源用の [OFF] ボタンを使用しないでください。メンテナンス時に本体の電源を完全に切るには、メイン電源スイッチ（羊皮紙製パネルの左側）をご使用ください。

SpectraLight III のプログラム設定

SpectraLight III の各光源を時間指定でプログラム設定することができます。サンプルを連続でいくつかの光源下で観察する際にサンプルの外見を重視でき、前方パネルの操作を行う必要がないため便利なプログラムです。

プログラムは次のように設定します。

1. 前方パネルのディスプレイに [PGM:] が表示されるまで、[SET/SAVE] ボタンを押し下げます。
2. 最初の光源が表れるまで、光源ボタンを押し下げます。最初の光源が作動するまでの数秒間ボタンを押し下げ、離します。
3. [Seconds=##] が前方パネルに表示されます。[##] は、ボタンが押し下げられた秒数を表します。例えば、寒色白色ボタンを 3 秒間押し下げた場合、[Seconds=03] がディスプレイに表示されます。
4. [PGM: XX] がディスプレイに表示されます。XX は選択された光源を示します。例えば [PGM: CW] は、最初の光源となる寒色白色蛍光を示します。

5. 手順 2 を繰り返して次の光源を選択します。
6. **[PGM: XX YY] がディスプレイに表示されます。** YY は 2 番目の光源を示します。例えば **[PGM: CW HR]** は、最初の光源となる寒色白色蛍光、および次の光源となる日没光を示します。
7. 手順 2 を繰り返して残りの光源を選択します。
8. **[SET/SAVE]** ボタンを押してプログラムを保存します。**[Program Saved]** がディスプレイに表示されます。これで SpectraLight III のプログラム設定が完了です。
9. プログラム設定を変更するには、上記の手順を繰り返してください。以前の設定は全て消去されます。

プログラムの実行

シングル式装置でプログラムを実行するには、次の順序に従ってください。

1. **[RUN]** ボタンを押します。**[L/AUTO]** がディスプレイに表示されます。
2. SpectraLight III はプログラムを実行します。プログラム設定した順序で光源が作動します。プログラムは 光源用の **[OFF]** ボタンが押されるまで続行します。

マスター/スレーブ設定 (daisy chain 設定) でプログラムを実行するには、次に従ってください。

1. マスター装置の **[RUN]** ボタンを押します。**[R/AUTO]** がディスプレイに表示されます。
2. SpectraLight III はプログラムを実行します。マスターおよびスレーブ装置にプログラム設定した順序で光源が作動します。プログラムは、マスター装置の光源用 **[OFF]** ボタンが押されるまで続行します。

注記：プログラムを実行中は UV 光源ボタンを押さないでください。押してしまった場合、プログラムは終了していても中止されます。別の光源ボタンを押して本体をリセットし、プログラムを実行し直す必要があります。プログラムに UV が必要な際は、本体のプログラムを再度設定しなければなりません。「SpectraLight III のプログラム設定」の手順に従ってください。

自動スリープタイムの使用

SpectraLight III の昼光ランプは、本体に備わっているランプの中で最も寿命が短いランプです。昼光ランプの交換頻度を減らすために、SpectraLight III に「自動スリープタイム」機能が備わっています。この機能は、5 分経過すると昼光から寒色白色蛍光に自動的に切り替えます。この機能は、特にユーザーが昼光光源を選択した後に別の光源に切り替えなかった際に便利です。自動スリープタイム機能は自動的に有効に設定され、**[*]** がディスプレイに表示されています。

自動スリープタイムを無効に設定することも可能です。手順は以下の通りです。

1. 昼光光源が選択されている間に、**[DAYLIGHT]** ボタンを押します。
2. **[AUTO SHUTOFF DE-ACTIVATED]** がディスプレイに表示されます。**[*]** がディスプレイから消えます。
3. 昼光ランプは 5 分経過しても、別の光源を選択するまで ON になった状態になります。

昼光光源を OFF にし、ON に設定し直すと、自動スリープタイムが再度有効に設定されます。手順は以下の通りです。

1. 昼光光源が選択されている間に、光源用の **[OFF]** ボタンを押します。昼光光源が OFF になります。
2. **[DAYLIGHT]** 光源ボタンを押します。**[DAYLIGHT*]** がディスプレイに表示されます。自動スリープタイムが有効に設定されます。

ランプタイムメーターのリセット

SpectraLight III のランプは交換可能です。ランプ交換後は、新しいランプに対してタイムメーターをリセットしてください。ランプタイムメーターをリセットするには、次の手順で行います。

1. 交換されたランプに対し、光源ボタンを 5 秒間押し下げた状態にします。
2. **[PRESS SET/SAVE TO CONFIRM RESET]** がディスプレイに表示されます。
3. **[SET/SAVE]** ボタンを押します。
4. 時間がゼロ (0) に設定されます。

診断メッセージの解釈

SpectraLight III で通常の操作を実行できなくなった場合に、以下の診断メッセージが表示されることがあります。メッセージ内容および解決法は以下の通りです。

メッセージ表示	内容/意味	実行する解決法
Over temperature	本体が過熱しています。	1) メイン電源スイッチで本体の電源を OFF にしてください。 2) 本体の上部に気流を防ぐ物がないかどうか確認してください。あれば、それを動かして、本体の電源を入れてください。 3) 物がない、あるいは本体の電源を入れた後にもメッセージが表示される場合は、手順 4 に進みます。 4) 販売店までご連絡ください。
Line Problem	電源の問題です。	1) 本体の電源を切り、再度 ON にします。 2) メッセージがまだ表示される場合は、販売店までご連絡ください。
Daylight Burned Out Lamp	昼光ランプを交換する必要があります。	1) メイン電源スイッチで本体の電源を OFF にしてください。 2) 前ページの「ランプ交換」手順に従ってください。

部品： その他のランプキットについては販売店までお問い合わせください。

**SPL (昼光) ランプキット
A-L/SPLD**

このキットには、750 ワットのタングステンハロゲンランプが 2 個入っています。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL (日没光) ランプキット
A-L/SPLH**

このキットには、500 ワットのタングステンハロゲンランプが 4 個入っています。SPL III には 4 つ必要です。これは 4 個入りのセットです。

**SPL (イルミナント A) ランプキット
A-L/SPLIA**

このキットには、150 ワットの白熱光ランプが 2 個入っています。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL (CWF) 36" ランプキット
A-L/SPLCW**

このキットには、F30T8/CW 寒色白色蛍光ランプが 2 個入っています。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL (TL84) 36" ランプキット
A-L/SPL84**

このキットには、F30T8/TL84 蛍光ランプが 2 個入っています。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL (U30) 36" ランプキット
A-L/SPLU30**

このキットには、F30T12/U30 ウルトラリウム 30 蛍光ランプが 2 個入っています。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL (UV 30 ワット) 36" ランプキット
A-L/SPLUV**

このキットには、F30T8/BLB UV ランプが 2 個入っています。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL (UV 6 ワット) ランプキット
A-L/SPLUV6W**

このキットには、F6T5/BLB UV ランプが 2 個入っています。SPL III には 1 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL (U35) 36" ランプキット
A-L/SPLU35**

このキットには、F25T8/U35 ウルトラリウム 35 蛍光ランプ 1 個、SPLIII-510 手順書 1 枚、SD43-SPL-U30 ラベル 1 枚、SD43-SPL-CWF ラベル 1 枚が入っています。

**SPL III (TL84) 全ランプキット
A-LK/SPL84**

このキットには、750 ワットのタングステンハロゲン昼光ランプ 2 個、500 ワットのタングステンハロゲン日没光ランプ 4 個、150 ワットの白熱光ランプ 2 個、F30T8/TL84 蛍光ランプ 2 個、F30T8/BLB UV ランプ 2 個、F6T5/BLB UV ランプ 1 個が入っています。1 台の SpectraLight III に必要な各ランプ数がセットになっています。これは 15 個入りのセットです。

**SPL III (U30) 全ランプキット
A-LK/SPLU30**

このキットには、750 ワットのタングステンハロゲン昼光ランプ 2 個、500 ワットのタングステンハロゲン日没光ランプ 4 個、150 ワットの白熱光ランプ 2 個、F30T8/U30 蛍光ランプ 2 個、F30T8/BLB UV ランプ 2 個、F6T5/BLB UV ランプ 1 個が入っています。1 台の SpectraLight III に必要な各ランプ数がセットになっています。これは 15 個入りのセットです。

**SPL III 昼光フィルタパック (D75) VB または OVHD
A-FP/SPL75**

特許取得済みの D75 北空昼光、7500 K フィルタパックアセンブリ。SPL III 観察ブース専用です。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL III 昼光フィルタパック (D65) VB または OVHD
A-FP/SPL65**

特許取得済みの D65 平均的北空昼光、6,500 K フィルタパックアセンブリ。SPL III 観察ブース専用です。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL III 昼光フィルタパック (D50) VB または OVHD
A-FP/SPL50**

特許取得済みの D50 日中光、5,000 K フィルタパックアセンブリ。SPL III 観察ブースまたはオーバーヘッド光源装置に使用できます。SPL III には 2 つ必要です。これは 2 個入りのセットです。

**SPL ディフューザーおよびドアアセンブリ
A-AK/SPLDD**

「透明」プリズムガラスのディフューザーです。SPL III 観察ブースまたはオーバーヘッド光源装置に使用できます。SPL III には 1 つ必要です。これは 1 個入りのセットです。

**SPL リモートコントロールキット
A-CK/SPLR**

SPL III 観察ブースまたはオーバーヘッド光源装置に使用可能な接続式リモートコントロールです。

弊社は、含蓄のある保証または特定用途への適合性を含めた、本説明書に対する一切の保証をいたしません。弊社は、本説明書内に含まれるエラー、および本説明書の運用または使用により発生する付随的・必然的な損害に責任を負いません。本説明書の著作権はエックスライト社が有します。エックスライト社の許可なしに、本説明書の如何なる部分を複製することは著作権に反します。SpectraLight® は、X-Rite, Incorporated の登録商標です。



ビデオジェット・エックスライト株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田2-30-4 BR 五反田7F

Tel (03)6825-1641

Fax (03)5436-1616

エックスライト社 米国本社

米国ミシガン州グランドラピッズ

Tel (+1) 616 803 2100

Fax (+1) 616 803 2705

エックスライト社 ヨーロッパ

スイス レーゲンスドルフ

Tel (+41) 44 842 24 00

Fax (+41) 44 842 22 22

各地域のお問い合わせ先は www.xrite.com でご覧いただけます。